

国際ロータリー第2640地区

堺フェニックスネット例会

SAKAI PHOENIX Rotary Club

四つのテスト

～言行はこれに照らしてから～

2017 - 2018年度

- | | | |
|-----------------|--------|--------|
| 1. 真実かどうか | 地区ガバナー | 岡本 浩 |
| 2. みんなに公平か | 会 長 | 仲峯 豊 |
| 3. 好意と友情を深めるか | 幹 事 | カスムニアズ |
| 4. みんなの為になるかどうか | | |

堺フェニックスネット例会事務局

〒590-0021

堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16 C-17

TEL 072-227-4900 / FAX 072-227-4991

例会日 毎月15日より次月14日

ホームページより参加下さい。

<http://www.sakaiphoenix.com>

メールアドレスにて返信ください。

sakai.phoenix.1997@gmail.com

第10回ネット例会

2018年4月15日

2017-18年度 例会式次第

開 会 点 鐘 会 長 仲 峯 豊

クラブ会長 挨拶 会 長 仲 峯 豊

クラブ幹事 挨拶 幹 事 カ ス ム

炉辺談話総集編 NO4 PDF

閉 会 点 鐘 会 長 仲 峯 豊

2017-18年度 第11回ネット例会ご案内

5月15日 1カ月間
より

京都醍醐寺の新緑



さあ！新緑の新鮮な空気を
浴びながら、奉仕活動に汗
を流そう！



ROTARY : MAKING A DIFFERENCE 2017-18年度 RI会長 イアン E・S ライス'リー

ロータリー：変化をもたらす



会長開会点鐘



ネット例会を開会致します。

会 長ご挨拶 仲峯 豊



ようこそ！

ロータリアンの皆様、堺フェニックスネット例会にご参加いただき感謝申し上げます。

新緑の季節、葉桜が綺麗に新鮮な空気を浴びながら奉仕と親睦に汗を流し、素晴らしいロータリー人生を歩んでいきたいと思ひます。

いよいよ今年度もあと2か月、皆様はどのような奉仕活動を続けてこられたでしょうか。人の心に残る活動、人を幸せと感じさせる活動、地域社会に根づくような活動、ロータリアンが感動を覚える活動、それぞれ奉仕活動はあると思ひます。

私たちロータリアンとなって、それぞれ在籍年数は違いはあるかと思ひますが、しかし1ロータリアンとして何を残したのかが重要だと思ひます。ロータリーは親睦と奉仕の2本柱であると聞いております。しかし現在の状況は親睦が行き過ぎて、例会自体が親睦活動になっているように思ひます。食事会のような状況になりつつある。

またロータリーには5大奉仕があります。各委員会も各クラブにあるかと思ひますが会員自らいろんな発想を持って自主的に奉仕活動を進めておられるロータリアンがどれだけおられるか。理事役員だけが一生懸命になって頑張っているのが現実ではないかと思ひます。

私たちロータリアンは奉仕の理想を実現しつつ、新しい仲間をどんどん増やし、また如何にして会員を増やしていくのかを真剣にひとりひとりのロータリアンが探求していかなければならないと思ひます、それにはまず既成概念や形骸化した枠にとらわれず、自由な発想で人の心を掴んでいく活動が大事だと思ひます。

ご清聴ありがとうございました。

幹事ご挨拶

カスミアズ・アドラフマン



ロータリアンの皆様こんにちは。
第10回目のネット例会、ご参加ありがとうございます。

尚ネット例会にご参加頂いたロータリアンの皆様には一切メーキャップ費用等はありません。
ご参加頂いたロータリアンの皆様からメールでご要望、講評、感想文、卓話等をどんどんお寄せ下さい。次回のネット例会に掲載させていただきます。
必ず返信メールにてメーキャップカードを発行させていただきます。
。また堺フェニックスRCのホームページもお楽しみください。
クラブ会員の皆様は近況をお寄せください。
皆様で楽しく、為になるネット例会にしていきたいと思えます。
何卒、皆様のご協力で、今後も素晴らしいネット例会になる事をご期待をしてご挨拶に返させていただきます。
本年も何卒宜しくお願い致します。
添付の資料「クラブ奉仕の原点を求めて」をご参考にお読みください。

4月のロータリーレートは1ドル104円です。

地区組織

日本に於ける地区組織の肥大化がしばしば話題になっています。全日本ロータリー会員名簿で各地区の組織図を調べると、ガバナー補佐、地区幹事、各種委員会を含めた地区委員の総数は多い地区で 250 名、少ない地区でも 80 名位で構成されているようです。

地区資金、地区活動資金については全体的な統計は公表されていませんが、日本全体で考えれば、かなりの金額が地区組織維持のために使われているものと想像されます。

私たちが遵守しなければならないことは、RI 定款、RI 細則、標準ロータリークラブ定款に明記されている規約のみであって、「地区組織」に関する項目は、この中には記載されていませんから、すべてガバナーが必要に応じて決めればよいこととなります。ガバナー要覧を見ると、一応基本的な地区組織図が記載されていますが、地区の必要に応じて、ガバナーが独自に定めるべきであることが記載されています。

ただし、ガバナーは地区唯一の RI 役員という立場上 RI 理事会の決定事項を守らなければなりません。RI 理事会の決定事項を纏めたものが「The Rotary Code of Policies ロータリー章典」であり、この中から地区組織に関して定めている項目を抜粋すると以下通りです。しかしこれらの内容のほとんどは推奨であって、強制的な義務ではありません。

19.060 ガバナー補佐

DLP を採用してガバナー補佐を設置することが推奨されていますが、これは義務ではありません。ただし、DLP を採用しなければ、ガバナー補佐研修に関する RI からの補助金は支給されません。ガバナー補佐の任期は 3 年を越えてはなりません。選考の条件、任務などについては詳細な取り決めがありますが省略します。

19.070 地区幹事

RI 理事会は、ガバナーが、ロータリー全般や地区の諸会合に詳しい会
員を、最高5年の範囲で地区幹事に任命して、地区内の諸会合の設営、会
しかし方は、確かに理想的かも知れませんが、世界レベルで見れば少数派
なのです。

19.080 パスト・ガバナーの諮問委員会

パスト・ガバナーは諮問委員としてガバナーやガバナー・エレクトを援
助するように奨励されています。しかしガバナー地区管理に対してガバナ
ーの権限を妨げる行動をすることは厳しく禁止されています。

21.010-21.060 地区委員会

RI 理事会が設置が推奨している地区委員会は、規定情報委員会、ロータ
リー財団委員会、ロータリー地域社会共同隊小委員会、WCS 委員会、青
少年活動委員会、青少年交換委員会、新世代委員会、地区社会奉仕委員会、
地区親睦活動委員会です。昨年度までは推奨されていた、会員増強・拡大
委員会、広報委員会、環境保全委員会の設置は除外されています。

日本においてはどの地区もほぼ同じような地区委員会構成になっていま
すが、最近では委員会の統廃合や縮小を試みる地区もあるようです。外国
では極めて多彩な委員会構成をしている地区もあり、面白い例では、地区
内のもめごとを処理する「火消し委員会 Firemen's Committee」を設置し
ている地区もあります。

会員数が減少し、地区資金の増額もままならない昨今の状況を考えれば、
思い切って地区組織を縮小する必要があるかも知れません。

ある会合で、「昨年は職業奉仕委員を務めたお陰で、かなり職業奉仕につ
いて理解することができました。」という発言があり、これに対して、地区
の委員会は情報を各クラブに提供するために設置しているのであって、委
員を教育するために設置しているわけではない。地区委員は各種セミナー

や情報提供の場で、リーダーとしての役割を果たす実力を持っている少数
精鋭で構成すべきだという意見もあり、これにも一理があるようです。

2005.1.1

会長エレクト研修セミナー(PETS)

会長エレクト研修セミナー(PETS)に関する取り決めを、ロータリーの規約に基づいてご紹介いたします。PETS 実施に当たっては、次の事項に留意してください。

- ① 実施主体はガバナー・エレクトであり、ガバナーではありません。次期地区研修リーダーとよく相談して効果的なプログラムを策定の上、実施してください。
- ② 会長エレクトの参加が義務づけられており、ガバナー・エレクトからの免除を受けずに、PETS に出席しなかったり、免除されても指定の代理が PETS に出席しなかった場合は、クラブ会長に就任することができません。
- ③ 3 月中に 1 日半のセミナーを開くことが推奨されています。日本では 1 日しか開催していない地区が多いようです。

国際ロータリー細則

15.030. 会長エレクト研修セミナー(PETS)

理事会が決定した通り地区内会長エレクトを指導、訓練するために、PETS を開くものとするが、多地区合同の PETS でも差し支えない。PETS は、毎年、なるべく 3 月中に開くものとする。ガバナー・エレクトが PETS に対し責任をもつものとする。PETS は、ガバナー・エレクトの指示および監督の下に、計画、実施するものとする。

標準ロータリークラブ定款

第 9 条 理事および役員

第 5 節 役員選挙(c) 資格条件。各役員および各理事は、いずれも、本クラブの瑕疵なき会員でなければならない。会長エレクトは、ガバナー・

エレクトから特に免除されない限り、会長エレクト研修セミナーと地区協議会に必ず出席しなければならない。免除された場合は、所属クラブによって指名された代理を必ず派遣しなければならない。この代理人は会長エレクト本人に対し結果報告するものとする。会長エレクトが、ガバナー・エレクトからの免除を受けずに、会長エレクト研修セミナーおよび地区協議会に出席しない場合、あるいは、免除されても指定の代理をこれらの会合に派遣しなかった場合、かかる会長エレクトはクラブ会長に就任できないものとする。

ロータリー章典

23.030. 会長エレクト研修セミナー(PETS)

23.030.1. ガイドライン

RI 理事会は、PETS に関する以下のガイドラインを確立して、ガバナー・エレクトが理事会によって推奨された PETS プログラムの内容を堅持することを奨励する。

23.030.2. 目的

会長エレクト研修セミナー(PETS)は、RI 細則 15.030.節の規定に従って、ガバナー・エレクトの指示と監督の下に地区研修リーダーによって計画され実施される、情報提供のプログラムである。その目的はクラブの会長の次のような点についての能力、知識およびやる気を育成することである。

- クラブの会員基盤を維持、増大させる。
- 地元地域社会および他国の地域社会のニーズに対応するようなプロジェクトを実行し成功させる。
- 金銭的な寄付およびプログラムに参加することでロータリー財団を支援する。

- クラブレベルを超えてロータリーに奉仕する能力のある指導者を育成する。

23.030.3. プログラム

プログラムの前述の目的を達成するために、PETS には次のような構成要素と研修目的を盛り込む。

- 年次テーマの提示

研修目的 年次テーマに提示されている概念を理解すること。来るロータリー年度のクラブ活動のために、テーマを意欲高揚の枠組みとして活用すること。

- クラブ会長の責務

研修目的: ロータリークラブ会長の役割をすべての面において理解すること。その役職に付随した責任と約束事項を十分理解すること。

- 目標の設定

学習目的 目標設定の重要性と効果的な目標の特性を理解すること。来るロータリー年度の会員増強、奉仕活動、ロータリー財団の目標を設定するに当たり、クラブ会員を指導すること。

- クラブ指導者の選任と準備

研修目的 クラブの目標とニーズに基づいたクラブ組織を確立する重要性を理解すること。効果的なクラブ指導者として奉仕するロータリアンにより必要される各種の技能を確認すること。来る年度のために、クラブの指導者チームの準備を整えること。

- クラブ管理運営

研修目的 ロータリー・クラブ運営のための枠組みとして役立つ方針や手続を十分理解すること。地区と RI に対するクラブの管理義務規定を認識すること。クラブを支えるに当たってガバナーとガバナー補佐の役割を理

解すること。クラブ会員に興味を起こさせるクラブ例会プログラムのために新しいアイデアを開発すること。

○ 会員の勧誘とオリエンテーション

研修目的 ロータリー会員のための枠組みとして役立つ方針や手続きを十分に理解すること。来るロータリー年度のために果敢な、しかし現実に即した会員増強目標を設定するようにクラブを指導すること。効果的な会員増強プログラムの構成要素を理解すること。

○ 効果的な奉仕プロジェクト

研修目的 効果的な奉仕プロジェクトの構成要素を理解すること。地域社会の真のニーズを取り上げるプロジェクトを実施する必要性を認識すること。地域社会のニーズの査定を行う方法を学ぶこと。四大奉仕のそれぞれの分野における奉仕活動の重要性を理解すること。

○ ロータリー財団

研修目的 ロータリー財団の主要プログラムと活動を理解すること。来る年度のために果敢な、しかし現実に即したロータリー財団寄付目標を設定するようにクラブを指導すること。

○ 資源—どこにあり、どのように使うか。

研修目的 責務を遂行するのに役立つ有用な方策資源に注意を向け、活用できるようにすること。利用可能な資源は、RI 委員会、タスク・フォースを始め、地域社会、地区、および RI 事務局に用意されている。ボランティア組織における認証の重要性を理解し、RI とロータリー財団を通じて用意されている認証プログラムに注意すること。

○ 年度計画

学習目的 「効果的なロータリークラブを計画するための指針」の使用方法を理解すること。帰宅後、クラブ会員と共にクラブ会長が最終化できるクラブの基本的な実施計画を作成すること。

23.030.4. 参加者

PETS への参加者としては、ガバナー・エレクト、ガバナー補佐、地区研修リーダー、地区内のクラブ会長エレクト全員が含まなければならない。クラブ会長エレクトの経費はクラブもしくは地区が負担することが奨励される。ガバナー補佐は、ガバナーを補佐して、自分たちが担当するクラブの次期会長が PETS に出席することを推進し、クラブ会長エレクト、ガバナー・エレクト、ガバナー補佐との間で、チームの団結を図るものとする。地区研修リーダーは、PETS

セミナー指導者チームのための研修資料を開発して、ガバナー・エレクトと共に研修セッションを行う。

23.030.5. PETS 指導者

ガバナー・エレクトが PETS に対し責任をもつものとする。地区研修リーダーは、ガバナー・エレクトの指示と監督の下に、セミナーの計画と実施に責任を持つ。セミナーの指導チームは、資格の備わったパスト・ガバナーと地区委員会委員長で構成される。ガバナー・エレクトは適切なセッションにおいてロータリー財団に関する話題を提供して、地区ロータリー財団委員会の援助をすることが奨励されている。

23.030.6. 時期

PETS は 3 月中に 1 日半のセミナーを開くものとする。

23.030.7. 多地区合同 PETS ガイドライン

多地区合同 PETS 組織は、ロータリー章典のセクション 16.010「多地区合同ガイドライン」から除外されており、多地区合同 PETS ガイドラインによって管理されている。多地区合同 PETS 組織は、これに関わったすべての地区が開発し承認した多地区合同 PETS ガイドラインに基づいて管理される。

○ プログラム

多地区合同 PETS を実施するガバナー・エレクトは、プログラムのうち少なくとも 3 時間を、ガバナー補佐を交えたガバナー・エレクトとクラブ会長エレクトの会合のために配分しなければならない。

○ 管理

ガバナー・エレクトは、最終的なプログラムを作成し承認する責任をもち、研修指導者と本会議の講演者を選定する。地区研修リーダー、またはガバナー・エレクトによって選ばれるか、承認された指名人は、セミナーにおける研修の計画と実施に責任を持つ。ガバナー・エレクトは、多地区合同 PETS のために集められたすべての基金を管理するために存在する方針と手続を適切に行う責任をもち、また、ガバナー・エレクトは多地区合同 PETS 会計の財務監査諸表を適切に行う責任をもち、多地区合同 PETS への参加を終結しようとする参加地区は、地区内クラブの 2/3 の承認を得なければならない。ガバナー・エレクトは、終結日の 60 日以内に、その決定を事務総長と他地区のガバナー・エレクトに通知しなければならない。

○ 奨励

多地区合同 PETS 組織は、単独地区 PETS の意思決定者が、多地区合同 PETS に出席するように招待することを奨励している。

○ 多地区合同方式への変更

多地区合同 PETS は、多くの地区が一堂に会する PETS の運営を知り、多地区合同 PETS に参加することによって、示唆に富み、やる気を起こさせる講演を聞くという利益を得ることができるよう、多地区合同 PETS の食事会に参加するように、単独地区 PETS を招待することを奨励している。単独地区 PETS の代表は、RI や多地区合同 PETS に費用を支払うことなく出席することが奨励されている。ガバナー・エレクトは、地区内クラブの 2/3 の承認を得た後に、多地区合同 PETS を行うことができる。ガ

バナーは、あらかじめ理事会を代表して行動する事務総長の承認を得た上で、多地区合同 PETS を行うことができる。

23.030.8 PETS の管理

多地区、単独地区に関わらずすべての PETS は、同一の考え方を持ったガバナーと連携したガバナー・エレクトの直接監督権とコントロールの下にあって、地区指導者チームとの協調を図らなければならない。

2005.1.13

地区協議会

地区協議会に関する取り決めに、ロータリーの規約に基づいてご紹介いたします。地区協議会実施に当たっては、次の事項に留意してください。

- ① 実施主体はガバナー・エレクトであり、ガバナーではありません。次期地区研修リーダーとよく相談して効果的なプログラムを策定の上、実施してください。
- ② 会長エレクトの参加が義務づけられており、バナー・エレクトからの免除を受けずに、地区協議会に出席しなかったり、免除されても指定した代理が地区協議会に出席しなかった場合は、クラブ会長に就任することができません。
- ③ 会長エレクト研修セミナーPETSの後、4月または5月に、丸1日の日程で開催するように推奨されています。

国際ロータリー細則

15.020. 地区協議会

地区協議会は、多地区協議会でも可であるが、必要な技能、知識および意欲をもつロータリークラブの指導者を育成し、会員基盤を維持、および/または増強させ、それぞれの地域社会を始め他の国の地域社会のニーズを取り上げたプロジェクトを実施して成功させ、プログラムへの参加と資金寄付を通じてロータリー財団を支援するために、なるべく4月あるいは5月中に、毎年開催されるものとする。ガバナー・エレクトが地区協議会に対し責任を持つものとする。地区協議会は、ガバナー・エレクトの指示および監督の下に、ガバナー・エレクトが立案、実施するものとする。特別な事情があれば理事会は、ここに定める時期以外の時期に地区協議会を開催することを認可できる。地区協議会に出席を要請されるのは、クラブ会

長エレクトと次年度において重要な指導者の役割を務めるよう会長エレクトにより指名されたクラブの会員である。

標準ロータリークラブ定款

第9条 理事および役員

第5節 役員選挙

(c) 資格条件。各役員および各理事は、いずれも、本クラブの瑕疵なき会員でなければならない。会長エレクトは、ガバナー・エレクトから特に免除されない限り、会長エレクト研修セミナーと地区協議会に必ず出席しなければならない。免除された場合は、所属クラブによって指名された代理を必ず派遣しなければならない。この代理人は会長エレクト本人に対し結果報告するものとする。会長エレクトが、ガバナー・エレクトからの免除を受けずに、会長エレクト研修セミナーおよび地区協議会に出席しない場合、あるいは、免除されても指定の代理をこれらの会合に派遣しなかった場合、かかる会長エレクトはクラブ会長に就任できないものとする。

ロータリー章典

23.020. 地区協議会

23.020.1. 目的

地区協議会の目的は、ロータリークラブの指導者たちが、次のような点において必要な能力を育成し、知識を持ち、やる気を起こすように図ることである。会員基盤を維持し、増強し、地元地域社会および他の国の地域社会のニーズを取り上げたプロジェクトを実施して成功させ、プログラムへの参加と資金寄付を通じてロータリー財団を支援することである。

3.020.2. 参加者

地区協議会参加者は、クラブ会長エレクトおよび、次ロータリー年度に指導的役割を果たすようクラブ会長エレクトから任命されたロータリークラブ会員とする。

23.020.3. 構成

地区協議会においては、研修に参加する各分野別のグループとして次のような構成をとるものとする。

- 役割と責務
- 基本原則—方針と手順
- チームの選定と研修
- 活動計画の立案
- 資料
- 成功例の検討
- 実用的な応用: 計画を立てる
- 問題解決

23.020.4. 地区協議会研修目的

RI 理事会は地区協議会の学習目的として次のような点を挙げている。前述の地区協議会の目的を達成するために、各構成事項の研修目的は、研修に参加している各分野別のグループのニーズに基づいたものでなければならない。

- 会員勧誘と入会式

研修目的・・クラブが所在する地域にふさわしく実行可能な会員勧誘計画を立て、実施する。クラブ会員に効果的な勧誘方法を習得させる方法を学ぶ。新会員をクラブに歓迎する入会式を行う方法を学ぶ。以上の責務を遂行するにあたり、役立つ資料や援助源を RI から入手する方法を知る。

- 新会員のオリエンテーションと指導顧問

研修目的・・新会員がクラブに溶け込み、クラブ活動に円滑に参加できるように、新会員のためのオリエンテーションを計画、実施する。各新会員のための指導顧問を養成、任命する方法を学ぶ。以上の責務を遂行するにあたり、役立つ資料や援助源を RI から入手する方法を知る。

○ クラブ広報

研修目的 ロータリーとその奉仕活動に対する地域社会の認識を高め、クラブの会員勧誘策を支えるため、クラブの広報計画を立て、実施する。以上の責務を遂行するにあたり、役立つ資料や援助源を RI から入手する方法を知る。

○ クラブの管理

研修目的 ロータリークラブの管理運営に必要とされる任務(会費徴収、出席記録の管理、毎週のクラブ・プログラムの計画、親睦活動の手配など)を理解し、遂行する。

ある地域から他に地域へ移転するロータリアンについて、効果的に他クラブへ通知する方法を開発する。以上の責務を遂行するにあたり、役立つ資料や援助源を RI から入手する方法を知る。

○ 奉仕プロジェクトの成功

研修目的 成功する奉仕プロジェクトの特質を理解する。成功する奉仕プロジェクトの4つの要素(ニーズ調査、計画、実施、評価)を計画、実施する。ロータリー年度の枠を超えた継続的な奉仕プロジェクトを実施することの重要性を理解する。それぞれの奉仕部門において奉仕プロジェクトを実施することの重要性を理解する。以上の責務を遂行するにあたり、役立つ資料や援助源を RI から入手する方法を知る。

○ 地域社会奉仕プロジェクトのためのクラブの資金調達活動

研修目的 成功する資金調達プロジェクトの特質を理解する。クラブの資金調達活動を計画、実施する。資金調達活動を継続的に実施することの重

要性を理解する。以上の責務を遂行するにあたり、役立つ資料や援助源を RI から入手する方法を知る。

○ ロータリー財団

研修目的 ロータリー財団プログラム、およびロータリアンやその他の人々がロータリー財団に寄付する方法を理解し、クラブに説明できるようにする。クラブの年次寄付目標を設定、支援、推進する。ロータリー財団への大口寄付を推進する。以上の責務を遂行するにあたり、役立つ資料や援助源を RI から入手する方法を知る。

○ クラブ会長の指導力確立

研修目的 クラブを効果的に率先するのに必要とされる技能(指導力、動機付けの技術、チーム作りの方法、話し方、広報、問題解決など)を会得し、磨く。

23.020.5. 地区協議会の時期

地区協議会は、4月もしくは5月中に、丸1日を使って行う計画とする。

23.020.6. 地区協議会指導者

地区協議会のプログラム全般の責任はガバナー・エレクトが負う。

地区研修リーダーが協議会の計画と実施に責任を負う。各分野に関連する地区委員長は、担当する研修セッションの立ち上がりを指導する責任を負う。会長エレクトのための研修セッションには、パスト・ガバナー、ガバナー補佐などを適宜招くべきである。

23.020.7. 出席 a)

次期会長およびクラブ会長エレクトから次ロータリー年度に指導的役割を果たすよう任命されたロータリークラブ会員は、各自の所属するクラブに対して、地区協議会に出席すると誓約することを必要とする。

b)各クラブは、次期クラブ会長が地区協議会に出席することを義務付けると取り決めるように推奨される。この方針については、クラブ会長エレクト

トの選挙に先立ち候補者に知らせることとし、各クラブは、次期会長と次期幹事が地区協議会に出席する経費を支払うという方針を採択するものとするが、このことは他の指定を受けた参加者の地区協議会の重要性を低めるものではない。

23.020.8. 地区協議会の日程

事情によって、もし地区大会が4月もしくは5月に開催されるならば、地区協議会と地区大会を連続した会合日程で開催する。但し、そのような日程において、地区大会は後半に行われるものとする。そのような連続会合は、各会合に定められている時間数を減らすことなく、また各会合の必須事項に配慮をして行わなければならない。

2005.1.18

日本の常識は世界の非常識

1. 第一例会には国歌を歌う。例会場には国旗を掲げる。

戦争中、ロータリーは発祥の地がアメリカであることから、ロータリーはアメリカのスパイではないかと嫌疑をかけられたり、フリーメーソンの組織だという疑いをかけられました。その疑いを晴らすために、国に対して忠誠を誓うことを証明する意味で、例会で国歌を歌い、それが習慣化したものです。当時は、毎例会に特高が来て、サーベルをがちゃつかせながら例会を監視したそうです。国旗も同様な理由で掲揚され、今日に至っております。アメリカ以外の外国では、殆どの国では、国旗を掲揚したり、国歌を斉唱するといった習慣はありません。アメリカは移民の集まりなので、アメリカ人であるという自覚を持たせるために、国旗掲揚と国歌斉唱が盛んです。

2. 例会ではロータリーソングを歌う

初期のシカゴ・クラブは会員同士の親睦と物質的相互扶助が盛んに行われていましたが、1907年にポール・ハリスは対社会的奉仕と拡大に活動方針を転換しました。さらに1908年に入会したアーサー・シェルドンは奉仕の必要性を強調したために、シカゴ・クラブは親睦・互惠派と奉仕・拡大派に分かれて、毎例会は激論の場と化しました。その刺々しい雰囲気や和らげるためにハリー・ラグルスが始めたのが、歌を歌うという習慣です。最初の頃は「Smiles」とか「My Hero」などの大衆的な歌が好んで歌われました。

日本では、例会や各種の会合が始まる前や閉会する前に、儀礼的にロータリーソングが歌われますが、本来はそのような歌い方をするのではなく、どんなタイミングで、どんな歌を歌おうと一向に構わないわけです。

3. 100%の出席率を目指す

日本の例会場には、ほぼ会員数に見合ったテーブルと椅子が用意されていますが、アメリカの大都会では必ずしもそうではありません。私はよく、マンハッタンにあるニューヨーク・クラブにメイクアップに行きますが、会員数200名のこのクラブの例会場には、幾ら数え直しても100脚ほどしか椅子が用意されていません。ゲストは通常10名程度で、殆どは外国のロータリアンで、近郊からメイクアップするロータリアンの姿を見ることは稀です。マンハッタンにはもう一つ、アッパー・マンハッタン・クラブがありますが、このクラブは黒人中心のクラブで、白人が行くことはほとんどありません。ニューヨーク近郊には小さなクラブが数多くありますが、これらのクラブにメイクアップする、近隣クラブのロータリアンの数はごく僅かです。この傾向は、シアトル、ロスアンゼルスといった大都会でもまったく同様です。

すなわちアメリカの大都会のクラブでは、例会に出席する会員は半数くらいしかなく、例会を欠席してもほとんどメイクアップをする人はいないので、ロータリーの出席規定を厳格に適用したら、半分からいの人は退会を余儀なくされるのが、現在のアメリカの状況です。会員数が半減していないことは、出席規定が完全に空文化していることを意味しているのです。従って、クラブや個人が連続出席100%を目指して努力する日本の姿は、彼らの目にはクレージーとしか写らないのでしょう。

4. ロータリーの会合は、点鐘で始まり、点鐘で終わる

日本では、あらゆるロータリーの会合は開会点鐘で始まり、閉会点鐘で終わります。これは地区大会であろうと、クラブ例会であろうと、まったく同じで、点鐘で始まり、点鐘で終わるのが当然だと思われていますから、点鐘を鳴らすのを忘れようものならば、まさに罰金ものです。

点鐘についてはどこにも取り決めはありませんが、外国ではどうしているのでしょうか。

私が参加した 10 回ほどの国際大会は、開会宣言で始まり、蛍の光で終わり、点鐘はありませんでした。

例会は、国やクラブによってかなり違いますが、点鐘を鳴らすのは珍しい部類にはいるのではないのでしょうか。ヨーロッパや東南アジアでは、何時始まって、何時終わるのか、さっぱり判らない例会も珍しくありません。

アメリカでは点鐘を鳴らすクラブもありますが、法廷やオークションで使う木の板を木槌でコンコンと鳴らす光景をよく見かけます。それも開会や閉会のときに儀礼的に鳴らすのではなく、スピーチを始める前などに注意を喚起するために使うことが多いようです。

5. 例会時間は 1 時間

日本では、例会時間は 1 時間と決めているクラブが多く、どんなことがあるとも、絶対に時間延長を認めないクラブもあります。卓話者に卓話時間を厳守するように事前に SAA が注意するクラブすらあります。

すべてのクラブは、クラブ細則に基づいて管理運営を行っていますが、推奨クラブ細則には例会曜日と例会開始時刻は定められているものの、例会時間や例会終了時刻に関する記載はありませんし、独自のクラブ細則を定めているクラブでも、それを定めているクラブにお目にかかったことはありません。すなわち例会時間が 1 時間であるという規約上の根拠はないことになります。アメリカの大都市のクラブは 1 時間半の例会が大部分です。地方の小都市のクラブでは 2 時間以上の例会や時間が不定期の例会も珍しくありません。韓国や台湾は日本の影響を受けて、1 時間の例会が主流ですが、その他のアジアの国やヨーロッパでは、何時終わるとも知れずに、延々と続く例会も珍しくありません。そんな長時間続く例会でも、途

中で退席する会員の姿は殆どなく、例会日は一日どっぴりとロータリー漬けになるつもりで、例会に参加しているように見受けられました。従って、彼らの目には、36分間経ったら我先に退席する日本のビジターや会員の姿は、さぞかし奇異に写るに違いありません。

6. 会費は食費を含めて支払う。

日本のほとんどのクラブの年会費には食費が含まれています。これらの費用は半期分を前払いすることになっていて、仮に例会を欠席したとしても食費を返してくれるクラブはほとんどありませんが、不思議なことには、これに文句を言う会員はほとんどいないようです。従って、クラブの会計にとっては、ホームクラブの例会に欠席することと、ビジターの来訪は大いに歓迎ということになります。

外国では会費の中に食費は含まれておらず、食事代金はその都度キャッシュで支払うか、食券を購入するのが普通です。レストランやホテルで行う例会では、幾つかのメニューが用意されていて、自由に選ぶこともできますし、食事抜きで例会に参加することも可能です。食費は大都会の大規模クラブでも15-20ドル、田舎に行くと7-8ドルが普通で、日本よりかなり安いようです。

東南アジアの開発途上国では、ビジター・フィー2-3ドルで、お茶とクッキーだけで例会を開催しているクラブもあります。

ビジター・フィーとして平気で3,000円、5,000円取る日本が、世界から見ると特殊な国であることを認識する必要があります。

7. クラブにはクラブ事務局があり、事務局員がいる。

RIが発行しているOfficial Directory(RI会員名簿)には、世界中のロータリークラブの情報が記載されています。2-3年前までは出版物として発

行されていましたが、現在は CD-Rom として発行されています。その会員名簿を調べると、会員 200-300 人以上の大規模クラブと、日本、韓国、台湾以外のクラブには、「クラブ事務局」の欄が空白であることに気付きます。これは決して記載漏れではなく、世界中のほとんどのクラブは「クラブ事務局」を持っていないことを意味するのです。

米山梅吉がロータリーという組織を日本に輸入した際、すでに社会的に成功した実業家で構成されたアメリカの大クラブを手本にしたことと、東京クラブが財界の大御所を中心に組織されたことから、会員が自らクラブを運営するのではなく、事務処理をすべて事務局員にさせるという悪い先例を作り、それを、その後設立された他のクラブが真似をし、さらに日本のクラブとして出発した韓国や台湾にもその悪い先例が引き継がれたものと思われます。

大規模クラブは別にして、世界中のほとんどのクラブには、クラブ事務局はありませんし、事務職員もおりません。すべての事務処理は、幹事を中心にそれぞれのクラブ奉仕小委員会がこれを役割分担して行い、幹事の家がクラブ事務局を兼ねているのです。日本のクラブの会費が高いと不満を言う前に、その会費の半分以上を占めている事務所と事務職員の費用を節減する道を選ぶべきです。幹事、会計、出席委員会、親睦活動委員会、会報委員会などのクラブ奉仕関連小委員会が自らの役割を果たせば、事務局員は不要になるはずです。

9. クラブの個性

日本のクラブの委員会構成を見ると、ほとんどのクラブが同じような委員会構成を採用しています。中には、推奨ロータリクラブ細則と一言一句変わらない委員会構成を採用するように、カバナーが指導している地区もあるようです。旧推奨クラブ細則は会員 200 名程度のクラブを想定して作

られていたために、多くの委員会があり、30-40名程度のクラブでは一人の会員が幾つもの委員会を掛け持ちしなければなりません。新しい推奨細則ではかなり委員会の数を減らすことが可能になりましたが、今度は常任委員会や理事の定数を巡って混乱が起こっているようです。推奨細則の冒頭に「本細則は単に推奨されるに過ぎない。RI定款・細則、クラブ定款と矛盾しない限り、クラブ自身の事情によって変更することができる」と書いてあるにも関わらず、これに拘りすぎるクラブが依然として多いようです。クラブの委員会構成はクラブ細則で定めるために、クラブの自治権の範疇にあります。従ってどのように定めようとクラブの自由なのです。

外国のクラブや地区の委員会構成を見ると、実に個性に富んだ委員会が存在することが分かります。以下、その一例をご紹介します。

Fireman's Committee 火消し委員会 揉め事を解決する委員会

Donor Committee 臓器提供の斡旋をする委員会

Sunshine Committee クリスマスの贈り物をする委員会

History of Rotary Committee ロータリー史編纂委員会

Local trading Committee 市内における商取引を奨励する委員会

Business methods Committee 正しい事業運営を研究する委員会

皆様方のクラブを象徴するような、特徴的な委員会を作られては如何ですか。

10. ロータリーの会合に出席するときには身なりを整える。

日本のロータリアンはお行儀がよく、ほとんどのロータリアンは背広にネクタイ姿で、ロータリーのエンブレムをつけて会合に参加します。会社のユニフォームを着たままで例会に出席しようものなら、ひんしゆくの眼差しを浴びせられることは必至ですし、エンブレムでも付け忘れようものなら、罰金を免れることはできません。

定款・細則には、服装についての取り決めはどこにもなく、エンブレムについても使用する権利があると記載されているものの、それを付ける義務については何の規定もありません。

外国の例会では、背広にネクタイ姿の会員は半数以下です。皆、好き勝手な服装で、夏などは半袖がごく当たり前の格好です。特に女性会員の服装のルーズさは格別で、若いピチピチした肌ならば兎も角も、皺だらけの肌に、ノースリーブ、半パン姿には目をそむけたくなります。この傾向は、国際大会などの大きな会合でも同様であり、最近では、Tシャツにジーンズ姿の参加者にも、あまり違和感を感じなくなったのも不思議なことです。

10 例会の卓話

日本では例会の開催時間を1時間と定める習慣が固定化してしまったために、1時間を越えるとまるで定款や細則に違反したかのような非難が集中するようです。その影響を受けて、どのクラブも、食事15分、クラブ議事15分、卓話30分と定めた、極めて硬直的な例会運営を強いられているようです。この時間の制約が、画一的で魅力のない例会が開催される大きな原因の一つになっているのではないのでしょうか。

私は、よくセミナーを依頼されますが、一つのテーマについて、相手が十分理解できるように話そうと思えば90分は必要になります。パワーポイントを使ってエッセンスを効率的に話しても最底限60分は必要です。

30分の卓話時間では荒筋を述べるだけで終わってしまい、聴衆の心を打つような話を期待することは不可能です。年間に1度回ってくるか、こないかの機会ですから、十分時間をかけて準備し、それを発表する機会が与えられるべきでしょう。

外国では卓話時間の定めはありませんが、およその時間を告知してから話を始めるケースが多いようです。話の途中で退席する人はほとんどいま

せんが、その一方で、話の内容がつまらなかったり、面白くなければ、容赦なくブーイングを浴びせることや、冗長な卓話は強制的に終了させることすらあります。従って、卓話者は事前に十分準備をしてから、卓話に臨んでいるようです。

卓話が済むと、卓話の内容に関連した積極的に質疑応答が行われます。次々に質問攻めに会って、必死になって答える様は、卓話を聞くよりも面白く、卓話と質疑応答が一体となって、例会プログラムの中心になっていることを強く感じさせられました。

11 参加意識

外国では、例会を含めたすべての会合における出席率は極めて悪く、その平均は60%前後だと思われます。この実態を反映して、ロータリーの60%ルールが生まれたのではないかと思います。日本のように100%登録を強制して、実質的な出席者数は問わないといった手法は通用せず、登録者数と出席者数はほぼ同じです。

その代わり、出席した限りは、たとえ例会時間が2-3時間かかっても、途中退席する人の姿を見ることは稀です。これは、国際大会や地区大会や大規模の研修会でも同様で、初日の参加者も二日目以降の参加者もほぼ変わりはありません。万難を排して一旦出席したからには、最後まで参加しようという意識の強さを感じます。

日本ではどうでしょうか。食事とクラブの議事が済んで、これからいよいよ例会プログラムのメインである卓話に入ろうとする矢先に、ぞろぞろと列を作って退席するビジターの姿に、苦々しい思いをするのは私だけではないでしょう。どうしても席を外さなければならない急用が出来たのならばいざ知らず、前後2週間もあるメイクアップ期間中のわざわざ所用のある日を選んで、メイクアップをする必然性はないはずで

折角出席した例会です。最後まで参加することが義務であると共に礼儀であると考えべきでしょう。

昨年大阪国際大会で、初日に、あの巨大な大阪ドームを埋め尽くしたロータリアンが、二日目以降にはアリーナにまばらにしか見当たりませんでした。どこで開催される国際大会でも、開会式にだけ出席して、後はほぼ全員が観光旅行に出かけてしまうのが、日本のロータリアンの現実の姿です。

12 SAA の権限

SAA はロータリーのあらゆる会合において、開門、閉門、会場の出入り、会場の案内、議事運営、食事など、その会合が秩序を守って円滑に進行するために最高の権限を与えられた役職です。会場においては、会長や理事などの役割を越えた絶対的な権限を持っているので、すべての参加者は SAA の指示に従わなければなりません。従って、クラブの SAA は会長経験者、RI や地区レベルではパストガバナーなどのベテラン会員をこれに充てるケースが多いようです。

国際大会などの大規模な会合では、ベテランのパストガバナーの中から選ばれた SAA を中心に、一般会員の中からボランティアとして参加した多数の副 SAA がこれを補助します。クラブにおいても、ベテランのパスト会長が SAA を務め、さらに会員数の 10% 程度の副 SAA がこれを補助するのが好ましいとされています。

日本では、SAA がニコニコ箱を管理するという習慣が定着しているようです。そのために、会合の秩序を守るという本来の役割が軽視されているのはおかしな話です。

13 会長経験の意義

外国でロータリアンから名刺をもらうと、会長経験者は必ず PP (Past President) という肩書きを付けていることに気づきます。中には CP (Charter President) という肩書きを自慢そうに示す人もいます。

ガバナー、ガバナー補佐になるためには、クラブ会長を全期間経験することが義務付けられていますから、外国では、クラブ会長を経験することは、シニア・ロータリアンになるための出発点に過ぎないと考えている人が多いようです。従って、何時でもシニア・ロータリアンになれる資格として PP という肩書きが重要視されているのです。

日本では 20-30 代で入会する人は稀ですから、若くて会長に就任する人も稀です。従ってガバナーになるのも遅く、理事はさらに遅く、RI 会長を務めるのは年齢的に不可能というのが現状です。クラブ会長を務めることが、クラブに対する最後のお勤めだと考えてはいけません。なるべく若い内に会長を務めて、会長を務めたことが、ロータリーの世界で対外的に羽ばたく最初のステップだと考えて、PP という肩書きを大切にしてください。

会長閉会点鐘



ネット例会を閉会致します。
ご参加ありがとうございました。